

三省堂書店 週間ランキング《文芸》

1位 講談社 『宝島』



真藤順丈

英雄を失った島に、新たな魂が立ち上がる。固い絆で結ばれた三人の幼馴染み、ガスク、レイ、ヤマコ。生きるとは走ること、抗うこと、そして想い続けることだった。少年少女は警官になり、教師になり、テロリストになり一同夢に向かった。超弩級の才能が放つ、青春と革命の一大叙事詩!!

2位 『新章 神様のカルテ』
小学館／夏川草介

3位 『トラペジウム』
KADOKAWA／高山一実

4位 『1R1分34秒』
新潮社／町屋良平

5位 『ニムロッド』
講談社／上田岳弘

※三省堂書店全店調べ《2019/1/28～2019/2/3》

三省堂書店 週間ランキング《文庫》

1位 集英社 『七つの会議』



池井戸潤

きっかけはパワハラだった!トップセールスマンのエリート課長を社内委員会に訴えたのは、歳上の部下だった。そして役員会が下した不可解な人事。事態の收拾を命じられた原島は、親会社と取引先を巻き込んだ大掛かりな会社の秘密に迫る。ありふれた中堅メーカーを舞台に繰り広げられる迫真の物語。

2位 『マスカレード・ホテル』
集英社／東野圭吾

3位 『十二人の死にたい子どもたち』
文藝春秋／冲方丁

4位 『室町無頼 上・下』
新潮社／垣根涼介

5位 『マスカレード・イブ』
集英社／東野圭吾

※三省堂書店全店調べ《2019/1/28～2019/2/3》

三省堂書店 週間ランキング《新書》

1位 文藝春秋 『一切なりゆき 樹木希林のことば』



樹木希林

彼女の語ることが説得力をもって私たちに迫ってくるのは、浮いたような借り物は一つもないからで、それぞれのことばが樹木さんの生き方そのものであったからではないでしょうか。それは希林流生き方のエッセンスでもあります。読むほどに心に沁みる樹木さんのことばを玩味していただければ幸いです。

2位 『もっと言うてはいけない』
新潮社／橘玲

3位 『妻のトリセツ』
講談社／黒川伊保子

4位 『お金の流れで読む 日本と世界の未来』
PHP研究所／ジム・ロジャーズ

5位 『日本進化論』
SBクリエイティブ／落合陽一

※三省堂書店全店調べ《2019/1/28～2019/2/3》